

令和 7 年度

越谷市環境白書

越谷市環境管理計画年次報告書



はじめに

越谷市は、多くの河川や用水路が流れ、古くから自然に恵まれており、江戸時代には日光街道第三の宿場町としてにぎわい、豊かな自然と歴史が融合したまちとして発展してまいりました。

本市では、公害の防止や、自然資源・快適環境の保全・創造を図るため、昭和58年に、全国の自治体に先駆けて「越谷市環境管理計画」を策定し、先導的に環境政策に取り組んでまいりました。

令和3年4月には、昨今の脱炭素をはじめ、プラスチック廃棄物処理、気候変動による気象災害など新たな課題に対応するため、令和12年度までを計画期間とする第4期の「越谷市環境管理計画」を策定したほか、埼玉県東南部地域5市1町（草加市・越谷市・三郷市・吉川市・松伏町）「ゼロカーボンシティ」共同宣言を行い、「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すことといたしました。

また、令和6年7月には、市域からの温室効果ガス排出量の削減を目指すため、本市及び民間事業者等の11者で「こしがや脱炭素コンソーシアム」を設立いたしました。

今後も、国・県のみならず、世界の動向も注視しながら、「越谷市環境管理計画」に基づき、市民・事業者・行政の協働により、本市の環境施策を総合的かつ計画的に推進してまいります。

この「越谷市環境白書」は、このような環境分野全般の取組みについて、令和6年度の実績をまとめるとともに、「越谷市環境管理計画」の年次報告書として、本市の環境施策の進捗状況を掲載しております。

本書が、多くの皆様に広く活用され、身近な環境に対してさらに関心を深めていただくとともに、環境に配慮した行動を実践する一助となれば幸いです。

令和7年10月

越谷市長 福田 晃

